

月刊



平成31年4月1日発行 通巻279号  
 昭和40年8月21日第3種郵便物認可  
 発行/公益社団法人 滋賀県建築士会  
 〒520-0801  
 滋賀県大津市におの浜1-1-18 建設会館3F  
 TEL077-522-1615 / FAX077-523-1602

公益社団法人 滋賀県建築士会

URL : <http://www.kentikushikai.jp/> mail : [shiga-sa@mx.bw.dream.jp](mailto:shiga-sa@mx.bw.dream.jp)

湖国が滋る・水と緑の街づくり

## CONTENTS

- ・総務企画委員会 ..... 2  
2019年度 通常総会開催のご案内  
地域貢献活動センター  
建築士が参画する地域貢献活動助成金のご案内
- ・ヘリテージマネージャー支援委員会  
滋賀県ヘリテージマネージャー第2回  
上級講座  
県内活動団体事例発表会「近江八幡  
の歴史的建造物を活かしたまちづくり」  
開催
- ・女性委員会 ..... 3  
DoシリーズNo.79  
「蘆花浅水荘でワークショップ  
～ミニスツールの座面を編む」  
事業報告
- ・青年委員会 ..... 4  
近建青研修事業「建築を取り巻く今昔」  
～伝統技術を学ぶまち歩きX最新技術  
向上勉強会～
- ・青年委員会  
防災研修事業報告
- ・地区だより ..... 5  
新入会員のご紹介  
地区別会員数
- ・ポリテクカレッジからのお知らせ .. 6  
4月の暦  
滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて  
番外編 株式会社 月桂冠  
(京都市伏見区)



## 株式会社 月桂冠 鉄筋コンクリート造の酒蔵建築

約2年半に渡り酒蔵建築と日本酒という視点で県内33蔵を取材し連載させて頂きました。また昨年12月に「日本の美しい酒蔵」(木下光、東野友信、前谷吉伸著 出版: エクスナレッジ) を出版させて頂き、近隣県で特に興味深い建築をもつ2蔵を、本番外編としてご紹介させて頂きます。

京都 伏見にある月桂冠がもつ広大な敷地の中には、木造蔵から鉄筋コンクリート蔵まで多様な建物が建つ。その姿は時代を切り拓いてきた独自の存在感を放っており、まるで酒蔵建築の縮図のようだ。濠川の水辺に木造蔵が建ち並ぶ本社地区、鉄筋コンクリート造のレトロな仕込み蔵と貯蔵蔵、洋館事務所などを構える昭和蔵地区、醸造蔵や研究所、瓶詰場など中層の建物が並ぶ下鳥羽地区(現在の大手蔵地区)の三地区に酒蔵があり、酒蔵の発展に伴い敷地も拡大してきた。1927(昭和2)年から建設された昭和蔵地区には、建築当時、国内初の冷房付き鉄筋コンクリート造2階建ての昭和蔵があり、経済産業省の近代化産業遺産にも認定されている。また調査と貯蔵を行う鉄筋コンクリート造の西蔵(写真上)は濠川の水辺と美しい景観を維持している。下鳥羽地区には1961(昭和36)年築の日本初の四季醸造システムを備えた鉄筋コンクリート造7階建ての大手一号蔵、1973(昭和48)年築の大手二号蔵(写真下)がありどちらも主力工場として製造を続けている。月桂冠は、伏見の蔵元としてだけでなく、これまでの日本の酒蔵建築の発展を一度に見ることができる希少な酒蔵群である。

(前谷吉伸 「日本の美しい酒蔵」より引用)

## 2019年度 通常総会開催のご案内

日時：2019年5月25日(土) 総会 14:30~16:50 (予定)  
懇親会 17:00~19:00 (予定)

場所：びわ湖大津プリンスホテル 大津市におの浜4-7-7 TEL:077-521-1111

※詳細は5月号にてお知らせ致します。

### 地域貢献活動 センター

## 建築士が参画する地域貢献活動助成金のご案内

滋賀地域貢献活動センターは、滋賀県建築士会会員が参画する県内の地域貢献活動を支援し、地域社会の発展に寄与することを目的としております。

当センターでは、建築士と共に次の9つ視点でまちづくり、地域活動をしている、又はしようとしているグループに、活動費の助成や技術・情報などの支援をしています。

地域の  
まちづくり

歴史的遺産の  
再生と活用

景観の保全

居住環境の  
保全・改善

福祉環境の整備

地域住宅  
づくり

地域防災

自然環境の  
保全・整備

その他地域活性化  
社会サービス等

**助成金**・1件の限度額：30万円かつ事業費の1/2・本年度総助成額：60万円

**助成金の条件**・滋賀県建築士会の会員2名以上（継続して5年以上の会員が）参画し、建築士として職能を生かした活動グループ。・営利を目的としない地域貢献活動グループ。・事業終了後1ヶ月以内に報告書等を提出のこと。・他の助成金を受けている場合は、助成が受けられない場合があります。・詳しくは滋賀県建設士会ホームページの「地域貢献活動センター」をご覧ください。

### ヘリテージマネージャー 支援委員会

## 滋賀県ヘリテージマネージャー第2回上級講座 県内活動団体事例発表会「近江八幡の歴史的建造物を活かしたまちづくり」開催

平成26年度より実施した「滋賀県ヘリテージマネージャー（HM）育成講座」を修了されたHM認定者を対象に、歴史的建造物の価値を生かした保存・活用や、まちづくりに活かすマネジメント能力の向上と習得を目的とした上級講座を実施しました。

平成30年9月9日(日)開催の長浜市木之本での第1回講座に引き続き、平成31年2月17日(日)に第2回上級講座を近江八幡市仲屋町中にある「近江八幡まちや倶楽部」を会場として開催いたしました。今回は近江八幡市旧市街地において、歴史的建造物を使用し保存活動や街づくりに取り組まれている3組の団体、地域の方々から、その活動や取り組みについて発表をいただき、情報・意見交換を行いました。当日発表をいただきました団体、個人の方々とは発表内容は次の通り。

#### 「一粒の会の活動と旧八幡郵便局の保存再生活用」

特定非営利活動法人 ヴォーリス建築保存活用再生運動「一粒の会」理事 伴 政憲氏  
ヴォーリス建築である旧近江八幡郵便局の保存再生運動を通じヴォーリス精神の継承、建物の保存を目的に活動。NPO法人になって今年で20年を迎えた、今までの活動や取り組み、今後の活動について発表をいただいた。活動にあたっては「保存する」ではなく「活かす」ことが大切であり、メンバーと「共有」を見つけ出し、目的を明確にして頑張りすぎず継続することの大切さを教えていただいた。

#### 「近江八幡まちや倶楽部の活動と旧造り酒屋の活動」

近江八幡まちや倶楽部 代表 宮村 利典氏  
旧造り酒屋の建物を利用して、宿泊施設やシェアオフィス、貸しスペースとして活用することにより、残存する価値ある歴史的建造物を保護し、近江八幡旧市街への人の流れと賑わいの創出を目的に活動されている宮村氏にその取り組みと活動内容を発表頂いた。氏は古民家等を市や大学の活動に開放されたり、リノベーションを行い、店舗、宿泊施設、オフィスなどに活用、旧市街地の活性化の手法について発表をいただいた。

#### 「アンドリュース記念館で開業した経緯や近江八幡のまちづくりへの思い」

株式会社エバンジェリスト 代表取締役 道城牧人氏  
ヴォーリス建築であるアンドリュース記念館の2階でナッツ専門店を開業される。父の近江兄弟社学園への赴任に伴いロサンゼルスより移住、社宅であったウォーターハウスに10年間住まれた。叔父の経営するアリゾナのナッツ農園を訪ねた際にロサンゼルスオーガニック文化と自らのストーリーを融合された「GoingNuts」のコンセプトを得る。アリゾナはヴォーリスが影響を受けた地であることから縁を感じ、アンドリュース記念館で事業を始めた。地域の資源を活用し、オーガニック文化を近江八幡から発信されている。

#### 「交流会」

コーディネーター 滋賀県立大学教授 濱崎一志氏  
活動報告とアンドリュース記念館、旧八幡郵便局、旧西勝酒造酒蔵の見学後、ヘリテージマネージャーにできること、何が求められるのか等、発表者と参加者が意見交換を行った。



「一粒の会」伴氏



「近江八幡まちや倶楽部」宮村氏



(株)エバンジェリスト 道城氏



事例発表会

## 「蘆花浅水荘でワークショップ ～ミニツールの座面を編む」事業報告

2月9日(土)、DoシリーズNo.79 「蘆花浅水荘でワークショップ～ミニツールの座面を編む～」を開催しました。会場となる大津市の蘆花浅水荘（記恩寺）は大正10年（1921年）日本画家山元春挙の別邸として建てられた数寄屋建築で、国の重要文化財に指定されています。大津市指定文化財名勝の庭園を一望できる書院がワークショップ会場となりました。冷え込む日となりましたが、21名の参加者がありました。

ワークショップの講師には、家具職人でスプファニチャー代表 雄倉高秋氏をお招きしました。最初に簡単なレクチャーを受けた後、3種類あるツールの本体を選ぶところから始まりました。次に座面となるペーパーコード（紙紐）の色を選んで、さあスタートです！最初は手間取っていた参加者の皆さんも何往復も編み進めるうちに慣れてきて、ペーパーコードの色の配分に工夫を凝らす方もおられました。寒い日でしたが段々気にならないほどの熱気が感じられるようになり、ただひたすら黙々と編み続け、予定時間をオーバーするほど没頭する姿が多く見られました。完成したミニツールは多彩な色柄に富み、各々の個性あふれる作品ができました。

ワークショップ終了後は、会場である蘆花浅水荘の見学会を行いました。山元春挙の孫である山元寛昭氏から概要についてお伺いした後、蘆花浅水荘 専門員の末富孝也氏より、建物のこと、山元春挙やその作品について、建物内を案内していただきながら解説してくださいました。庭の水鉢の水面に映る月を楽しむ事ができるという茶室「莎香亭」や、「無尽蔵」と呼ばれる画想を練るための小部屋、画室であった2階の「本堂」や応接室など建物内部をじっくり見学することができました。

山元春挙はこの別荘を自身や子孫のためだけに建てたわけではないそうです。「膳所町制施行三十年記念史」の中で「美術工藝其他の人々の集會場に解放し充介利用して貰ひたいと希望してゐる」と述べており、人々の役に立ててほしいという思いを伺い知ることができます。近年は蘆花浅水荘を活用していこうと「蘆花浅水荘活性化推進委員会」が発足し活動されているとのこと。また中秋の名月にはお月見の会を開催し地域の方に解放されているそうです。そのようなお話を伺いながら、この素晴らしい邸宅がこの先も地域にしっかりと根を張り、琵琶湖のほとりでその静かな佇まいを保ちながら存続していく、そんな姿が脳裏に浮かびました。今回、このような貴重な場を見せていただきましたこととお礼申し上げます。



雄倉氏によるレクチャー



座面編みに集中



個性あふれる座面の数々



作品を手に集合写真



末富氏による案内・解説



2階アトリエ見学

## 近建青研修事業「建築を取り巻く今昔」 ～伝統技術を学ぶまち歩き×最新技術向上勉強会～

2月9日(土)、ウイングス京都にて開催された近畿建築士会協議会青年部会（近建青）研修事業に、滋賀からは10名が参加いたしました。近畿各地から70名近い参加者が8グループに分かれ、3か所の工房店舗を体験見学、会場内ではハウズ・ジャパン(株)の福田氏を招いたセミナーの2本立ての研修事業でした。

工房見学では、家具「アルクファニチャーポイント」で近代から最新家具について学び、京からかみ「(株)丸二」では唐紙の歴史・技術を学んだあと手刷り体験をしました、うるし「(株)堤浅吉漆店」では漆の精製過程を見学し、伝統ある技術を現代建築での新しい採用事例も学びました。いずれも興味深い内容で、建築に対する熱意が沸騰し、寒さと歩き疲れを忘れてしまうほどでした。

会場でのセミナーは、建築版の食べログと言ってもいい、Houzz（ハウズ）の活用について学び、市場が求めているものが何かを知り、新たな建築発信ツールを得ることができました。そしてホールでの展示では、竹の内装材、和金物、和照明の伝統技術やVR体験、ドローンの展示、BIMソフトの最新技術に触れることができました。

残りの1時間はワークショップを行ない、より知識の向上がはかることができました。見て、触れて、深く知ること、伝統技術の深さと新しい時代へ順応していく様子を知りました。そして建築に関わる最新技術・手法の学びにおいては、決して遠い先のことではなく、もう目の前に必要とされているものであることを認識しました。

懇親会では、近畿の建築士仲間との交流がはかれ、刺激をもらい絆が深まりました。事業での学び、体験を生かし、建築士としての伝統技術、最新技術の情報を発信していきたいと思えます。

青年委員会 一居博樹



グループで今昔の技術を学ぶ



VRで室内空間を仮想体験



近代から最新家具を学ぶ



唐紙の歴史と技術を学ぶ



漆の精製過程や採用事例を学ぶ

## 防災研修事業報告

青年委員会では、3月16日(土)に兵庫県広域防災センター及び兵庫県三木市立志染町公民館にて防災研修事業を開催いたしました。午前には兵庫県広域防災センターにて防災士の活動の紹介や震度7の地震体験、煙避難体験、防災備蓄倉庫の見学を行ないました。地震体験、煙避難体験では模擬体験と分かっているにもかかわらず、いざ直面するとパニックになるほどの衝撃を受けました。

午後は志染町公民館に会場を移し、北淡震災記念公園総支配人である米山正幸氏を講師にお迎えして、防災セミナー及びワークショップを行ないました。防災セミナーでは今後どのように防災・減災について考えていけばよいのかを、米山氏の経験談・震災の教訓から学びました。ワークショップでは当日の事業を通じて感じたテーマを4問設け、グループで話し合い、米山氏にもコメンテーターとしてご参加いただきました。意見を書いた付箋をアプリで撮影しスクリーンに映し出すことで意見を共有することができ、他グループの意見がわかりやすかったことに加え、米山氏の的確な総評で理解が深まり、司会者の気さくな進行で大いに盛り上がりました。

これからの建築士としての活動に活かせるよう、今後起きる可能性が高いとされている南海トラフ大地震をはじめ、いつどこで起こるかかわからない災害に対し、「そなえあればうれいなし」と防災意識が高められた一日となりました。

青年委員 尾崎孝祐



起震車による地震体験



煙避難体験に向かう



ワークショップの意見の共有

## 甲賀地区

### 見学会事業報告

甲賀地域会では、見学会事業として2月23日 隈研吾氏デザインの知多半島道路パーキングエリア大府と阿久比を経由して中部国際空港見学ツアーとミツカンミュージアムに行ってきました。ミツカンの創業地半田

では、運河沿いの黒塀の景観とともに酢づくりの歴史や食文化の魅力に触れ、セントレアではターミナルツアーで空港内に展示してある美術品や施設概要の説明を受け、会員11名家族12名(内子供6名)和気あいあいとバスツアーを楽しみ交流をふかめました。



ミツカンミュージアム中庭のモニュメント



ミツカンミュージアム入口付近



大府パーキングで 全員集合

## 湖北地区

### 平成30年度 第3回 勉強会 「建築基準法・告示等直近の 改正状況について」 報告

3月7日(木)、長浜駅近くの浜湖月において、建築士のための勉強会「建築基準法・告示等直近の改正状況について」を開催いたしました。

今回講師として、一般財団法人滋賀県建築住宅センター佐藤氏にお越しいただき、改正法の概要、単体規定および集団規定に係る技術的基準の見直し内容(案)を解説していただきました。

26名の参加者とともに、最近の大規模火災による防火関連規制の見直し、木造建築物等に対する基準の見直し、既存建築物の用途を変更する場合の制限

の緩和、等を学びました。

建築設計に携わるうえで、今後問い合わせが増えると想定される内容であり、今回の勉強会はとても有意義なものになったと思います。



建築住宅センター 佐藤氏による講演

#### 新入会員のご紹介

地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名	地区	氏名
大津	野村 昌史	大津	深田 詩織	湖南	山下 美咲	甲賀	奥嶋 亮平	湖北	伊吹 重孝
	井藤 優作		堤 愛里加		西出 彩		武友 和也		藤田 浩二
	塚田 聡	湖西滋賀	奥村 徹		嶋田 篤人	草川 光稀	三田村 勇一		
	本郷 尊浩		湖南		大橋 正裕	小林 祐太	深田 美穂		
	杉浦 啓介	高田 和希			山川 昇	塚本 雄人	西堀 裕哉		
	小寺 彩乃		吉田 理子		藤澤 佳織	橋本 円香			

地区別 会員数 平成31年 3月1日現在	支部	大津	湖南	甲賀	湖東	彦根	湖北	高島	湖西滋賀	計
	2月	203	148	81	110	88	132	65	25	852
	3月	203	148	80	111	88	132	65	25	852
	差引	0	0	▲1	1	0	0	0	0	0

# 滋賀職能大からのお知らせ



コースNo.	コース名	受講料	定員	実施予定日※
CH011	木造住宅の基本計画技術 New	¥8,000	10	6/5(水)、6/12(水)
CH021	住宅基礎の構造設計実践技術 New	¥9,500	10	5/18(土)、5/25(土)
CH031	在来木造住宅設計実践技術<意匠設計編> New	¥8,500	10	8/31(土)、9/7(土)
CH041	木造住宅における結露防止を考慮した断熱・気密設計法	¥7,500	10	7/23(水)、7/24(水)
CH051	実践建築設計2次元CAD技術<フリーウェア編>(使用ソフト=JW_CAD)	¥7,000	10	9/4(水)、9/11(水)
CH061	実践建築設計2次元CAD技術(使用ソフト=AutoCAD)	¥9,000	10	6/18(水)、6/19(水)
CH071	実践建築設計3次元CAD技術<住宅間取活用プレゼン編> New	¥9,500	10	6/29(土)、7/6(土)
CH081	実践建築設計3次元CAD技術<BIM活用モデリング編>	¥10,500	10	7/23(水)、7/24(水)
CH091	ネットワーク工程管理実践技術	¥8,000	10	5/21(水)、5/22(水)

講座内容等については、「滋賀職能大」で検索、「在職者・事業主の皆様へ」からご確認ください。下記QRコードもご活用ください。



各講座ともCPD認定プログラム申請コースです。  
お申し込みは各コースとも開始日の1カ月前までです。  
お早めにお申し込み下さい。

## 「オーダーセミナー」のご相談を承ります。

職場やグループ単位での独自研修会「オーダーセミナー」の企画立案のお手伝いをいたします。下記「学務援助課」までお問い合わせください。

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構  
〈厚生労働省所管〉近畿職業能力開発大学校附属  
**滋賀職業能力開発短期大学校(滋賀職能大)**  
www3.jeed.or.jp/shiga/college/

〒523-8510 滋賀県近江八幡市古川町1414

学務援助課 TEL: 0748-31-2254  
FAX: 0748-31-2255

## 4月の暦

1	月	先負	平成31年度二級・木造建築士試験申込書「窓口配布」(～4月22日)	10	水	友引		20	土	赤口	湖東地区委員会 通常総会
				11	木	先負	四役会	21	日	先勝	
2	火	仏滅		12	金	仏滅		22	月	友引	
3	水	大安		13	土	大安		23	火	先負	
4	木	赤口		14	日	赤口		24	水	仏滅	
5	金	先負	平成31年度一級建築士試験申込書「窓口配布」(～5月13日)	15	月	先勝		25	木	大安	
6	土	仏滅		16	火	友引		26	金	赤口	事業・会計監査 湖南地区委員会 通常総会
7	日	大安		17	水	先負		27	土	先勝	
8	月	赤口		18	木	仏滅	理事会・理事予定者会議 平成31年度二級・木造建築士試験「対面受付」業務(18日～22日)	28	日	友引	
9	火	先勝	青年委員会	19	金	大安		29	月	先負	昭和の日
								30	火	仏滅	国民の休日

## 滋賀の酒蔵・伝統と文化を訪ねて 番外編 株式会社 月桂冠(京都市伏見区)

月桂冠は、1637(寛永14)年伏見創業の国内最大級の酒造会社である。伏見での酒造業は、伏見城の城下町の整備により都市が形成されたことに始まる。さらに、江戸時代に開削された高瀬川運河と宇治川が伏見港でつながり、伏見が宿場町となり酒の需要が高まったことで盛んになった。中書島駅からすぐの本社周辺には現在も木造蔵で高級酒の製造を行う内蔵酒造場と、木造蔵を改修した資料館(月桂冠大倉記念館 写真)がある。これらは鳥羽伏見の戦いで伏見の大半が焼けた後の明治築の建築だ。今でも木造酒蔵が多く残る本社周辺では、街区と水辺の景観が残されている。  
代表銘柄「月桂冠」 (前谷吉伸 「日本の美しい酒蔵」より引用)

